

近年の脳科学の発展により、非侵襲な計測手段を用いて人間の刺激に対する行動パターンの定量的な評価や、脳からの直接信号を用いた情報機器の制御が可能となっています。また認知や動作に関わる脳・末梢神経の活動をイメージング手法にて解明しモデル化することにより、人と機械とのよりシームレスな通信も夢ではなくなっています。このように未来に向けて脳通信ネットワークを健全に発展させ人間のコミュニケーション活動をより円滑に機能させるためには、生体情報を利用した通信ネットワーク技術、脳の高次機能を模擬した新しいデバイス技術、人間の嗜好やコンテンツ評価を支える神経マーケティング技術など、基礎から学際的領域を含めた多面的なアプローチが重要となります。そこで、関連の研究成果を発掘俯瞰することを目的として、「ブレインコミュニケーション」小特集号 (英文論文誌 B 平成 20 年 7 月号) を企画致しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待しております。

1.対象分野

主な対象分野は以下のとおりですが、この内容に限定するものではありません。現在のコミュニケーションの高度化や新しいコミュニケーション技術の創生につながる論文を募集致します。

マルチニューロン活動計測技術とインタフェース応用	ブレイン・マシン・インタフェースと神経補綴技術
生物・機械システムにおけるバイオフィードバック技術	脳機能イメージングと生体信号処理技術
大脳皮質における記憶・学習モデルと情報通信への応用	人間の行動解析と脳情報通信工学への応用
脳情報復号化技術とコミュニケーションへの応用	センサ技術とバイオメカニクス
思考と感性のコミュニケーション	センサネットワークとその融合化技術
ニューロインフォマティクスと検索技術	脳のシステムに学ぶネットワーク制御管理

2.論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりで論文 8 ページ、レター2 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3.投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。フォーマットは PDF のみ受け付けます。

なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Category of Transactions" で [Special-EB] Brain Communication を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 印刷した Confirmation Sheet of Manuscript Registration 及び Copyright Transfer and Page Charge Agreement にサインをしたものを論文投稿締切日である平成 19 年 11 月 10 日(土) (必着) までに下記送付先へ郵送して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4.論文投稿締切日 平成 19 年 11 月 10 日 (土) 必着

5.投稿書類送付先及び問合せ先

中村 元 〒356-8502 埼玉県ふじみ野市大原 2-1-15
(株) KDDI 研究所 ネットワーク設計グループ
TEL [049] 278-7817, FAX [049] 278-7813, E-mail : nakamura@kddilabs.jp

6.小特集編集委員会

委員長 相良 和彦(日立)
幹事 中村 元(KDDI 研)
委員 小峯 一晃 (NHK), 坂上 雅道 (玉川大), 竹市 博臣(理研), 田中 靖人 (NICT),
田村 弘 (阪大), 寺尾 元康(日立), 若宮 直紀 (阪大)

7. 付記

*締切日を厳守して下さい。

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらをご覧ください。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>